

## 1. 実践事例発表会

防災教育を実践している団体の方々から、日頃の活動内容や意義、思いなどを発表していただきました。

### 発表団体：あそび ma・senka

妊婦～乳幼児をもつ家庭の防災意識と対策に関する取り組み。被災者の実例から、防災対策や備蓄物品を検討し提案する等の防災教育の活動を紹介。

### 発表団体：釜石市立釜石東中学校

全校での防災学習「EAST - レスキュー」を実践。助けられる人から助ける人になるために、地域の方々と災害ボランティアの学習や活動を紹介。

### 発表団体：宮古市立鞆ヶ崎小学校

「津波防災カルタ」等で防災の知恵を身につけている。約50年前の「津波対策いろはかるた」が、実現しなかったことを新聞で知ったのをきっかけで作成。防災標語で使えるものは使い、最新の標語も加え、幻のカルタを復活させた。カルタを利用した活動等を紹介。

### 発表団体：気仙沼市

『主役は「学校」「地域」「子どもたち」、行政ができることは何か』をテーマとし、市内小中学校において実施。備蓄を使ったサバ・メシ（サバイバル飯炊き）や、市として取り組んでいる津波デジタルライブラリを使用したフィールドミュージアムの開発・普及の活動を紹介。

### 発表団体：秋田工業高等専門学校

雪国秋田・積雪期の地震対策として、積雪期に重点を置き、学生がこれまで学んできた基礎知識も生かしながら、積雪期の地震防災について考え、イベント等を通して成果を市民へPR。2008年度以降は、積雪寒冷地住宅の耐震性を検討する等の継続的な取り組みを紹介。